

アストロスケールとセック、ADRAS-Jに関する マーケティングパートナーシップを締結

持続可能な宇宙環境を目指し、スペースデブリ（宇宙ごみ、以下、デブリ）除去を含む軌道上サービスに取り組む株式会社アストロスケールホールディングス（本社：東京都墨田区、創業者兼 CEO 岡田 光信）の子会社で人工衛星の製造・開発を担う株式会社アストロスケール（本社：東京都墨田区、以下「アストロスケール」）はこの度、株式会社セック（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長 櫻井伸太郎、以下「セック」）と、アストロスケールの商業デブリ除去実証衛星「ADRAS-J（アドラスジェー、Active Debris Removal by Astroscale-Japan の略）」に関するマーケティングパートナーシップ契約を締結いたしました。

本パートナーシップは、セックによるアストロスケールの ADRAS-J プロジェクトへの支援を通じて、宇宙の持続可能性（スペースサステナビリティ）の実現を共に目指していくものです。アストロスケールは、世界初の大型デブリ除去等の技術実証を目指す、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の商業デブリ除去実証（CRD2*1）フェーズIの契約相手方として選定、契約締結され、ADRAS-Jを開発しています。ADRAS-Jは2022年度内に Rocket Lab のロケット「Electron（エレクトロン）」による打上げを予定しており、軌道投入後、非協力物体である日本のロケット上段への接近・近傍運用を実証し、長期にわたり放置されたデブリの運動や損傷・劣化状況の撮像を行います。

アストロスケール代表取締役の伊藤美樹は、以下のように述べています。

「長期的かつ安全に宇宙開発を続けるには、その環境を守ることが必要不可欠です。ADRAS-Jのミッションは、スペースサステナビリティを実現するための軌道上サービスを確立する上で非常に重要なものであり、このプロジェクトに係るセックのご支援に感謝いたします。」

セック代表取締役社長の櫻井伸太郎は、以下のように述べています。

「宇宙環境、ひいては地球環境の保護と持続可能な開発のためには、スペースデブリの問題を避けて通るわけにはまいりません。当社は、ADRAS-Jのミッションの意義に深く賛同するとともに、社会が安全でかつ発展していくことができるように、この重要な活動を支援してまいります。」

アストロスケール について

アストロスケールは、宇宙機の安全航行の確保を目指し、次世代へ持続可能な軌道を継承する為、全軌道における軌道上サービスに専業で取り組む世界初の民間企業です。2013年の創業以来、軌道上で増加し続けるデブリの低減・除去策として、衛星運用終了時のデブリ化防止（EOL*2）、既存デブリの除去（ADR*3）、故障機や物体の観測・点検（ISSA*4）、寿命延長（LEX*5）など軌道上サービスの実現を目指し技術開発を進めてき

ました。また、長期に渡り安全で持続可能な宇宙環境を目指す為、技術開発に加え、ビジネスモデルの確立、複数の民間企業や団体、行政機関と協働し、宇宙政策やベストプラクティスの策定に努めています。本社・R&D 拠点の日本をはじめ、シンガポール、英国、米国、イスラエルとグローバルに事業を展開しています。

アストロスケール本社ウェブサイトはこちら：<https://astroscale.com/ja/>

※1 CRD2：Commercial Removal of Debris Demonstration の略称

※2 EOL：End-of-Life の略称

※3 ADR：Active Debris Removal の略称

※4 ISSA：In Situ Space Situational Awareness の略称

※5 LEX：Life Extension の略称

セック について

セックは、「社会の安全と発展のために」をスローガンとするリアルタイム技術専門のソフトウェア会社です。交通・防衛・医療・環境エネルギーなどの「社会の安全を支える社会基盤分野」から、科学衛星・ロボット・車両自動走行・MRなどの「社会の発展に貢献する宇宙先端分野」まで、リアルタイムソフトウェアを提供しています。

システムズエンジニアリング（システム工学）やリアルタイム技術を活かし、科学衛星・惑星探査機に搭載されるソフトウェアや、観測データの解析システム、宇宙ステーション関連システムなどを開発し、創業当初から、宇宙分野の発展に貢献しております。

セックウェブサイトはこちら：<https://www.sec.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社セック 広報担当

TEL：03-5491-4770 e-mail：info@sec.co.jp